

# 平成10年度(第6回)専門医資格認定試験の試験問題について

専門医制度委員会  
委員長 大久保 利晃

平成10年8月29日・30日に、平成10年度(第6回)専門医資格認定試験が実施されました。今後の制度改善と受験者の便に供するため、委員会は従来どおり、この試験で用いられた試験問題を公表することといたしました。試験方法は、昨年と同じです。以下に筆記試験、口頭試験の全問題文を掲載いたします。

## 1. 筆記試験

A問題. 12問のすべてについて簡潔に回答せよ。

1. 派遣中の労働者に関する労働安全衛生法の適用関係で、派遣元事業主に適用されるものに「元」、派遣先事業主に適用されるものに「先」、両者に適用されるものに「両」を( )の中に記入せよ。  
( ) 職場における安全衛生を確保する事業者の責務  
( ) 雇い入れ時の安全衛生教育  
( ) 危険有害業務就業時の安全衛生教育  
( ) 作業環境測定  
( ) 一般健康診断
2. ある有機溶剤を対象に作業環境濃度と個人曝露濃度を同時に測定した。その結果、作業環境濃度は概ね許容濃度以下であったが、個人曝露濃度が作業環境濃度より極端に高い作業者が散見された。どのようなことが考えられるか。また今後の対策について述べよ。
3. 作業環境測定でのA測定とB測定のそれぞれの意義について簡潔に説明せよ。
4. 有機溶剤取扱者を対象とした特殊健康診断の結果、肝機能異常者の存在が判明した。その後の措置について述べよ。
5. 疲労を分類し説明せよ。
6. 労働安全衛生法及び関連法規、通達の中で作業時間の制限がされている作業をあげよ。

7. 肺がんの原因になり得ると考えられている職業性曝露因子を4つ記せ。
8. 許容濃度と管理濃度の相違について知るところを記せ。
9. WBGTの計算に必要な温熱指標は何かを記せ。
10. 統括安全衛生責任者を選任すべき業種は何かを記せ。
11. 従業員50人未満の中小企業の産業保健の現状と問題点を説明せよ。
12. 申請すれば無試験で、衛生管理者の免許を受けとることができる職業を列記せよ。

B問題. 5問中3問を選び回答せよ。

1. 労働者を飲酒量によって層別し、飲酒量が多いほど高血圧の頻度が高いという所見を得た。この関連性において、考慮すべき交絡因子を列記せよ。
2. 健康診断における健康診断実施から診断区分、就業上の措置、保健指導の実施までの流れを産業医のかかわりあいから説明せよ。
3. ある製造業に入社した新入社員(22歳, 男子)が、健康で定年を迎えるための長期的な健康教育を計画せよ。
4. コンピューターで一日中連続して数字入力を業務としている女子社員のVDT健診の際、予想される自覚症状を列記して説明せよ。
5. 中央管理方式の空調設備で管理しているビルに事務所を開設している事業場での、作業環境管理の留意点について述べよ。

C問題. 5問中2問を選び詳述せよ。

1. 最近の女子労働のあり方について特徴をあげ、あなたが産業医をしている事業場の現状と対比して、説明せよ。
2. 職場の健康水準を示す指標をあげ、各々の指標の持つ意義をあなたの職場の実情にそくして説明せよ。
3. 事業場で新規化学物質を使用する際の留意点を説明せよ。
4. あなたが産業医をしている事業場で、健康づくりを企画・立案・実施をする際に、考慮すべき課題を抽出し、その課題を解決するための方法について述べよ。
5. 常時500人以上が有害業務についている事業場で必要な資格者を、有害業務

の種類を想定しながら列記せよ。

## 2. 口頭試験

口頭試験では、個々の知識と関連領域の知識との整合性や、知識の総合性、経験の程度、問題解決能力、総合的評価能力、企画力、対象の観察力、指導性、協調性等を見ることを目的とした。口頭試験では、5名を1組とする小グループ単位で、A-1、A-2、Bの3種類の試験が実施された。

### 【A-1 問題】

1. 労働安全衛生法と労働安全衛生規則に規定された産業医の職務について述べて下さい。
2. 未規制化学物質を現場に導入する場合に留意すべき点について述べて下さい。
3. 交替制勤務の実施にあたって産業医としてアドバイスすべき要点について述べて下さい。
4. 呼吸用保護具の導入、選択、着用にあたって留意すべき点を述べて下さい。
5. 本年は、新たに5カ年計画として策定された第9次労働災害防止計画の初年度に当たる。災防計画とは何か、また本9次計画の基本方針、主要課題などについて述べて下さい。
6. 女子の多い事業場での「快適職場づくり」の要件を列挙して下さい。
7. 「騒音障害防止のためのガイドライン」について知るところを述べて下さい。
8. 熱中症の予防対策について述べて下さい。
9. 工業用ロボットがあちこちに導入されている工場巡視の場合、どのような点に注目して巡視しますか。
10. 脳血管疾患および虚血性心疾患等の労災認定基準が示されているが、その概略について述べて下さい。
11. 鉛溶取扱業務における、「清潔の保持等」について、その項目を述べて下さい。
12. 定期健康診断後の事後措置として行う就業区分をどのようなことを配慮して行うかについて、労働安全衛生法第68条(病者の就業禁止)なども考慮して、述べて

下さい。

13. 地域産業保健センターの概略と機能について述べて下さい。
14. わが国の身体および知的障害者の雇用促進に関する法的規制とその実態について、知るところを述べて下さい。

#### 【A-2問題】

1. 女子保護規定撤廃の法律が来年施行されるが、子育て中の女子労働者の健康の維持に必要な事業所内(関連する社会的資源の活用や活用しやすくするための支援も含めて)の対策の意義と具体化について検討して下さい。
2. 最近、「フレックスタイム」を導入する企業が見受けられるが、労働時間の自由裁量制の問題も含め、労働者の健康に与える影響と注意すべき問題点について論議して下さい。

#### 【B問題】

1. 安全衛生委員会で、健診受診率の向上が課題として取り上げられている。分析してみると、健診を受けない人が固定化してきている。受診し難い、あるいは受診を避ける理由を推定し、受診率向上対策を安全衛生委員会で示して下さい。10分程度の発表時間が与えられています。
2. 数年にわたる経常赤字から脱却するため、人件費コスト削減のために約300名の中老年労働者を早期退職制度により勧奨退職させた、1,000人規模の有害物質取扱い事業場がある。退職による労働力不足を派遣業者による外国人労働者で補うことで、生産量の維持を図っている。このような厳しい状況の中で、産業医として行うべき活動計画を事業者に示して下さい。役員経営会議で、概要説明の時間が10分程度用意されています。
3. 労働者の個人健康情報を経年的に記録し、生涯レコードとして活用すべきとの議論がある。管理主体は誰か、電子化技術におけるセキュリティーの課題などがあるが、こうした健康情報活用が生涯健康管理に有用か否かの検証が必要とされている。こうしたシステムを導入することを支持する論拠をあげ、外部の健診機関及び医療機関を含めたシステム案を、学会の研究会にて10分程度で紹介

して下さい。

4. OA 事務機器製造業。従業員数は男性150名、女性450名、その他にパートタイマー200名で、そのほとんどが女性である。これまで午後10時までの2交替が行なわれている。来年4月からの労働基準法の改正に伴って、女性従業員の3交替勤務を含めて深夜業務を拡大する予定である。この会社の、これからの女子従業員の健康管理について、安全衛生委員会で課題として取り上げられ、産業医にアドバイスが求められた。何を、どこまで、どのようにやるのか、具体的な方法について、約10分ほどで委員会で報告して下さい。
5. 健康診断で糖尿病予備群が多く見出されたので、健康教室を開催しようと提案したところ、「糖尿病は私病だから自分の休み時間でやるべき」との意見が、会社経営層から出された。開催を事業者に了解させる方向で提案を、役員会で10分程度の時間が設けられたと想定して行って下さい。